

令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会における表彰結果について

公益社団法人中央畜産会

令和6年11月28日（木）に令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会を開催いたしました。

8事例の発表の後、審査委員会が開催され、最優秀賞及び優秀賞が決定し、眞鍋 昇 審査委員長（東京大学 名誉教授）から各賞の発表と審査講評が行われました。

8事例の中から最優秀賞4事例（農林水産大臣賞、地方競馬全国協会理事長賞、中央畜産会長賞）、優秀賞4事例（農林水産省畜産局長賞、中央畜産会長賞）が選賞され、このほか、特別賞1事例（中央畜産会長賞）も選賞されました。詳細につきましては、別添のとおりです。

当日は、引き続き各賞の表彰式が行われ、農林水産大臣賞及び畜産局長賞については、農林水産省畜産局 松本畜産局長より、地方競馬全国協会理事長賞については、地方競馬全国協会 斉藤理事長より、中央畜産会長賞については本会 森山会長より、各受賞者に対し表彰状の授与が行われました。

なお、当日は、オンライン配信の視聴者含め、のべ800名を超える参加があり、成功裡に執り行われました。

令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会 受賞者一覧
(第64回農林水産祭参加行事)

◆催事内容◆

- 1) 開催日時：令和6年11月28日（木）13：00～17：00
- 2) 主催：公益社団法人中央畜産会
- 3) 後援：農林水産省、地方競馬全国協会
- 4) 会場：東京都千代田区平河町2-4-1
都市センターホテル 3階 コスモス

受賞者	発表テーマ
最優秀賞・農林水産大臣賞	
菅原 雅継 様 菅原 真美 様 (酪農経営 岩手県)	優れたリスクマネジメントによる高品質乳の安定生産 — 人にも牛にもやさしい酪農経営 —
平野 耕平 様 平野 博子 様 (酪農経営 岡山県)	自給飼料を軸に地域とともに、家族でやっていく
株式会社 ヤマニファーム (肉用鶏経営 高知県)	四国1位から全国1位肉用鶏に！ — 誰でもできる飼育・管理をめざして！ —
株式会社 丸福 有限会社 荻町高原総合農場 (養豚経営 大分県)	地域を結束（丸）させ地域の幸福（福）を目指す『丸福』 — 半世紀を超えて築き上げた「我が社のモットー 生産 即消費の流通体系で地域を支える」 —
優秀賞・畜産局長賞	
兵藤 幸悦 様 (肉用牛肥育経営 山形県)	家族と関係者の協力で実現した安定的な肉用牛肥育経営 — 30年にわたり辛抱強く取組んだ経営再建 —
株式会社 イソシンファーム (肉用牛肥育経営 栃木県)	祖父から孫へ、「愛」のバトンリレー — 地域に根差した耕畜連携・循環型農業の実現 —
田辺 竜太 様 (採卵鶏経営 山梨県)	持続可能な養鶏を追求する — 価値と魅力の再発見 —
有限会社 長門アグリスト (肉用鶏経営 山口県)	外的要因に負けない肉用鶏を起点とした経営 — 地鶏・循環・6次化で地域をリード —
特別賞	事例テーマ
旭市飼料用米生産者協議会 旭市飼料用米利用者協議会 飼料生産組織 千葉県	畜産、耕種、行政がタッグを組んで飼料用米増産への調整 機能を発揮 — 循環型農業を進め水田を次世代に継承する —